

令和5年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



10月号

暑さも峠を越え、ようやく秋らしくなってきました。「秋」は、皆さんにとって「運動の秋」「読書の秋」「食欲の秋」の、どの秋なのでしょう？私は、もちろん「食欲の秋」!!

さて、皆さんは、「発達障害」をご存じでしょうか？「LD（学習障害）」「ADHD（注意欠如多動症）」「自閉スペクトラム症」を指し、令和4年1月～2月の文部科学省の調査では、小・中学校の通常学級に約8.8%（男子は12.1%）の割合で在籍していると発表されました。教育相談や本校の在籍幼児児童生徒の中にも、発達障害の診断を受けたり、疑いがあったりする人は多く見られます。視覚障害からくる困難なのか、発達からくる困難なのかも見極めが難しいことも多くあります。なので、2学期のアイ・あいだよりは、少し趣向を変えて、「発達障害」について書こうと思います。

LD(学習障害)

LD(学習障害)とは、学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、情緒障害などの障害や環境的な要因が直接の原因となるものではない。

ADHD(注意欠如多動症)

ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

自閉スペクトラム症

自閉症とは、3歳位までに現れ、他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害。

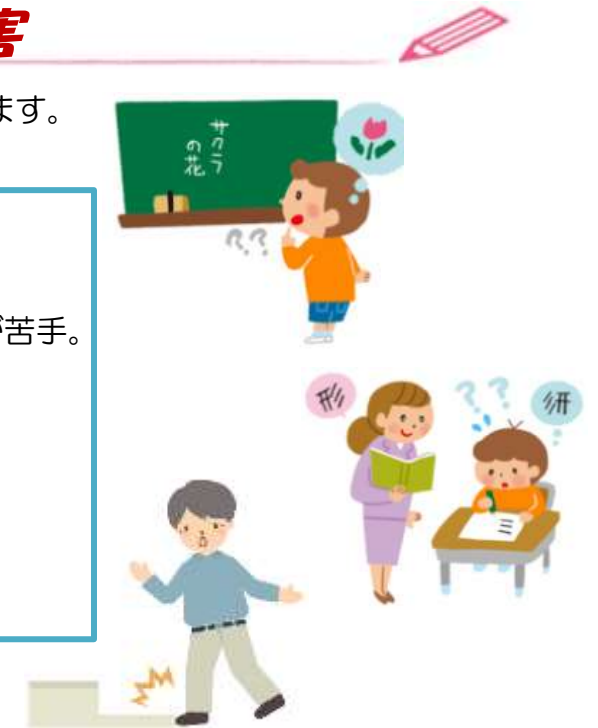
また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

視覚障害と発達障害

視覚障害と発達障害は、よく似た状態を見せることがあります。

例えば、

- ① 眼の上で、手をひらひらさせる。
- ② 同じ行動を繰り返す。ルーチンが多い。
- ③ 眼の前に見えているであろう物を見落とす。探し物が苦手。
- ④ 物につまづく。ぶつかる。段差を踏み外す。
- ⑤ 見比べることが苦手。板書が写せない。
- ⑥ 漢字が苦手。線の数を間違える。似た字を間違える。
- ⑦ 眼球運動が苦手。眼が動かない。
- ⑧ 光をまぶしがる。



視覚障害の場合、

- ①は、多少でも光を感じる事ができる人であれば、眼の上で手を振ることによって、光の変化を生み出すことができるため、一種の自己刺激のようになっている場合があります。
- ②は、視覚障害の人は、一般的に変化が苦手なため、同じ行動を繰り返すことで不安が少なくなります。
- ③④⑤⑥は、視力や視野の影響で起こっています。
- ⑦は、視覚障害の人の多くは、眼の動きはあまりスムーズではありません。
- ⑧は、眼の病気によっては、「羞明」が起こります。



発達障害の場合、

- ①②は、こだわりや常同行動と言われるものです。
- ③④は、シングルフォーカスと言って、全体を見ないで部分を見ることによって起こったり、不注意のために怪我をしたりします。
- ⑤⑥⑦は、模倣が苦手だったり、視写の要領が悪かったり、細部が見られていなかったり、眼を動かすことが苦手だったりすることから起こります。
- ⑧発達障害の人の中には、一定の光や音に対して過敏な状態があります。

視覚障害からくる困難なのか、発達障害からくる困難なのかを見極めることは難しいですが、視覚障害については眼疾患の特性や視力や視野のデータが有効ですし、発達障害については、特性やアセスメントの結果、教育相談の中での様子などから考えていきます。

もちろん、視覚障害と発達障害の両方を合わせ有している人もいますので、両面からアプローチしています。